

# Lion

IWATE

2013. 10  
OCTOBER



332-B 地区 アクティビティスローガン

イノベーション時代・地域ニーズにウィサーブ

今年度も9月29日(日)の東和猿ヶ石 LC の35周年記念式典を皮切りに、10月13日(日)の室根 LC の15周年記念式典、10月14日(月)釜石リアス LC45周年記念式典、10月27日(日)花巻東 LC40周年、11月24日(日)陸前高田 LC40周年記念式典と年内5つのクラブの周年記念式典が予定されています。

ライオンいわてでは順次掲載する予定です。今月は東和猿ヶ石 LC と室根 LC の周年記念式典の模様をお伝えします。

## 東和猿ヶ石 LC CN35周年記念式典報告

# イノベーションの時代 新たなる東和猿ヶ石 LC のスタートとしての35周年

日時：2013年9月29日(日) 場所：「築ハウス毘沙門」前河川敷

報告：東和猿ヶ石 LC 幹事 L. 浪越 直樹

スポンサー花巻東 LC の永年のご指導とご交誼により35周年を迎えることができました。

猿ヶ石川の河原にテントを張り野外ステージを設け、先輩クラブの皆様や地域の方々130余名を迎え、秋晴れの中で式典・祝賀会を開催致しました。

大石花巻市長、佐々木地区ガバナー、筒井スポンサークラブ会長の温かいご祝辞を頂き、35年間の星霜に思いをめぐらすと共に先輩クラブの皆様方の変わらない友情に思いを深く致しました。

休憩の間には、地元の伝統芸能「鹿踊り」を観覧し、又、呈茶の席にてひと時を



植樹風景

過ごして頂きました。

祝賀会では猿ヶ石川の鮎をその場で焼いて食してもらい、また、地元産の松茸、そば、もち、ひつつみ等田舎料理に舌鼓をうち、酒宴のひと時を過ごしました。

記念アクティビティーは、4年間かけて造成した桜香の森に東和小学校6年

生の卒業記念として、また、この35周年を記念して佐々木ガバナーはじめゾーンクラブ会長による記念として桜の苗木を植え、子ども達が作る子ども達の故郷「桜造り」のスタート年としました(全国の桜の名所の苗木80余種が咲き誇る森)。



テントの記念式典



佐々木ガバナーの祝辞

## 室根 LC CN15 周年記念式典報告

未来へつなぐ アクティビティ  
15年の節目を祝いと誓い

日時：2013年10月13日(日) 場所：一関市千厩町 マリアージュ

報告：編集委員 L.小岩 文雄 (室根 LC)

10月13日(日)マリアージュ(一関市千厩町)において、室根ライオンズクラブ CN15周年記念式典並びに祝賀会が、一関市長はじめご来賓の方々、また、佐々木賢治ガバナー、キャビネット役員、各ライオンズ関係の皆様、特に友好クラブである北海道・根室ライオンズクラブ L.須藤隆一会長はじめ6名の会員のご臨席のもと開催され、15周年の節目を祝うと共に更なる「社会貢献奉仕の心」を参加者皆で誓い合った。

式典では、L.千葉繁美会長が式辞の中で「まだ結成して15年という若いクラブではあるが誇りを持って『ライオニズム』の高揚に努めてきた。今後益々成長できるクラブとして精進したい。特に青少年の健全育成に力を注ぎたい」旨と、結成よりこれまでお寄せ頂いたご支援・ご尽力に対し感謝の意を述べた。

佐々木賢治ガバナーは「地域に根ざしぎした活動に敬意」、ご来賓の一関市長勝部修様は「次代を担う子ども達を大切にする取り組みは市制の目標と同じであり感謝と敬意を、今後益々の



ご支援を」とあいさつした。

また、遠路駆けつけた友好クラブ根室ライオンズクラブの L.須藤隆一会長は、「友好クラブ締結の意義やこれを契機に益々友好を深め、ライオンズ精神に基づいた活動を末永く推進したい」と続けた。

式典は、332-B 地区常任名誉顧問 L.米谷春夫のライオンズロアーで締めくくられた。

お楽しみ抽選会に  
会場燃え上がる

式典終了後の祝賀会では、式典とは一変し和やかな内に交流の輪があちらこちらで出来ていた。しかし、「お楽しみ抽選会」がはじまると「友好の輪」もほどけ、注目は「自分のカードナンバー」と「ステージ抽選箱」。

それもそのはず、ステージに山と積まれた抽選会の景品は、参加者3分の2に当たるという大盤振る舞い。特に友好クラブ(根室ライオンズクラブ)提供の「花咲きガニ」(時価1万円以上)の5箱に会場のボルテージは最高潮に。喜びの歓声と落胆の声があふく中、抽選会は順調に進み、最後に目当ての「カニ」に一喜一憂する中で、事もあるように、「カニ」が同じ家族(L・LL)に当たると云う幸運が飛び出した。しかし、そこはライオンズファミリー、1箱をドネーションとして提供があり、最後の抽選に大盛り上がり。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、「また会う日まで」の合唱で更なる「ライオニズム」の高揚を誓い幕を閉じた。

# 4市町(雫石・盛岡・紫波・矢巾)に義援金! キャビネット役員が甚大な洪水被害を受けた地域回る

報告：キャビネット幹事 L. 鈴木 正敏 (東山 LC)

8月29日(木)、8月上旬の大雨による洪水で甚大な被害を受けた4市町をキャビネット関係者が訪問して、義援金を各市町の関係者に手渡してきた。

雫石町と盛岡市には、キャビネット三役(ガバナーのL. 佐々木賢治、幹事のL. 鈴木正敏、会計のL. 高橋政智)の他に、第一副地区ガバナーのL. 吉田昭夫も同行して、義援金(各50万円)を「復興のために役立ててください」として佐々木ガバナーから首長さん方に手渡されました。

また、紫波町と矢巾町には、キャビネット三役と第二副地区ガバナーのL. 筒井學、そして紫波ライオンズクラブと矢巾ライオンズクラブの会長さん、幹事さんにも同行してもらって義

谷藤裕明市長に寄付金を手渡す佐々木賢治地区ガバナー(右)



県央豪雨被害の町4市町に寄付金盛ライオンズクラブ本県をエリアとするライオンズクラブ国際協会332-B地区(佐々木賢治地区ガバナー)は29日、県央部豪雨の災害復旧に役立ててほしいと盛岡、雫石、矢巾、紫波の4市町に各50万円を寄付した。

2013年8月30日付  
岩手日報掲載

盛岡市役所には、佐々木地区ガバナー、吉田昭夫第一副地区ガバナーらが訪れ、谷藤裕明市長に寄付金を手渡した。佐々木地区ガバナーは「私たちの想像を超える雨量だった。一刻も早い復旧に生かしてほしい」と語り、谷藤市長は「市も対応を急いでいる。有効に活用したい」と感謝した。

援金(各50万円)を手渡してきました。

※この義援金は、複合からの100万円と当(332-B)地区からの緊急積立金からの拠出金100万円を合わせた200万円を4市町に分配したことになります。

- 対応して下さった首長さん方
- ・雫石町：深谷政光町長、櫻田久耕副町長
- ・盛岡市：谷藤裕明市長、熊谷俊彦保健福祉部長
- ・紫波町：藤原博視経営支援部長、佐藤美津彦生活部長
- ・矢巾町：女鹿春夫副町長



雫石町



盛岡市



紫波町



矢巾町

# 大槌に工房「和リングプロジェクト・シェアファクトリー」が完成 ライオンズクラブ関係者が出席して贈呈式

報告：キャビネット幹事 L.鈴木 正敏（東山LC）

2013年9月15日付 岩手日報掲載

## がれき使ったキーホルダー工房



工房の完成を喜ぶライオンズクラブ国際協会  
の関係者と和リングプロジェクトのスタッフ

## 大槌に新たな拠点

がれきを使ったキーホルダーなどの製造販売を手掛ける大槌町の和リングプロジェクト（池ノ谷伸吾代表理事）の工房「和リングプロジェクトシェアファクトリー」が同町小槌に完成し、14日、資金援助団体から目録が贈られた。地域の産業振興や雇用創出の拠点として活用される。

## ライオンズクラブ国際協会 建設費を支援

贈呈式は現地で行われ、建設費を支援したライオンズクラブ（LC）国際協会の関係者5人が訪問。同協会32-B地区の筒井学（第2副地区ガバナー）が「復興はまだだが、この工房を活用して地域の産業振興や雇用創出の拠点として活用される。」と激励の言葉を述べた。

大槌LCの和田啓二会長が池ノ谷代表理事に目録を手渡した。池ノ谷代表理事は「工房完成でやるぞという気持ちにまたスイッチが入った。諦めずにやっつけていく」と力強く決意を述べた。

同プロジェクトは震災後の2011年6月からキーホルダー作りを開始し、12年2月に一般社団法人化。スタッフは11人で、仮設住宅の住民約20人に内職を依頼している。これまで作業していた釜石市只越町の釜石工房との2カ所体制とする。キーホルダーのほか、塩害木などを活用した表札や家具を製作。材料となる木材の伐採や製材など地元業者との連携による産業の仕組みづくり、幅広い技術・人材交流も視野に入れる。

今後、木工機械の設置などを進め、10月下旬に開所式を行う。

9月14日(土)大槌町小槌にライオンズクラブ関係者（5名）と大槌町の「和リングプロジェクト（池ノ谷伸吾代表理事、11名）」が集まって、ライオンズクラブ国際協会が900万円を支援して建てた工房「和リングプロジェクト・シェアファクトリー」の引渡し贈呈式が行われた。式では32-B地区のL.筒井学（第二副地区ガバナー）が「復興はまだだが、この工房を活用して地域の産業発展のため、何とかがんばってほし

い。」と激励の言葉を述べた。その後、大槌ライオンズクラブ会長のL.和田啓二が池ノ谷伸吾代表理事に目録を手渡した。今後、木工機械の設置などを進め、10月下旬には「開所式」を行う予定であると言う。

- キャビネット関係者
- ・第2副地区ガバナー L.筒井 学
  - ・キャビネット幹事 L.鈴木 正敏
  - ・キャビネット会計 L.高橋 政智



がれきから作られたキーホルダー

- 大槌ライオンズクラブ関係者
- ・大槌ライオンズクラブ会長 L.和田 啓二
  - ・大槌ライオンズクラブ幹事 L.大萱生 修一

# 第1回 GMT、GLT 委員合同会議

日時：2013年10月3日(木) 場所：ホテルメトロポリタン盛岡

報告：編集委員会副委員長 L. 藤沢 誠 (藤沢岩手 LC)



合同会議に出席したライオンズの皆さん

秋の気配に満ちた県都・盛岡市で午後のひととき、合同 (GMT・GLT) 会議が開催されました。県内各地から担当委員が集結し役員、講師、事務局員等 100 名によって有意義な時間を過ごしました。会議前にはホテルが用意した美味なるランチに一同が舌鼓を打ちました。

- ・ GMT (グローバル会員増強チーム)

- ・ GLT (グローバル指導力育成チーム)

(「ライオンズ必携」(P246、第53版参照))

会議は佐々木賢治ガバナーの挨拶で開会。3人の講師の熱弁が出席者の胸に響きました。講師の方々の共通の視点は〈例会が活動の輪のもと〉であり、若手の会員を増やす工夫と努力をすること。私たちはガバナーの

一貫した方針を支え、ライオニズムの基本の〈学び会組織であり仲間であることを確認し、地域のために奉仕しよう〉。

L. 後藤忍は国際委員会の委員として世界の中の日本のライオンズクラブの在り方について講演しました。岩手県は日本一の家族会員の多い所だと評価しました。世界ではインドと韓国の会員数の増加が目立っているそうです。

質疑応答の場では、ガバナーの交代で脱会者が出ること。退会を思いとどまるよう説得する苦労等が熱っぽく論議されました。

合同会議の講演及び質疑応答の詳細は、報告の紙面の関係で限定しました。各クラブの委員から聞き取り、かつ冊子等が配布されていますので、GMTとGLTについて研究してください。



写真左より L. 後藤<sup>せいし</sup>成志 L. 種市<sup>かつじ</sup>一二 L. 後藤忍  
挨拶する佐々木賢治ガバナー



会費を安くする工夫をしつつ、家族や親戚の人も加えて国内 20 万人の会員を達成しよう、と力説する L. 後藤忍



トレードマークの白いアゴひげを顕示し、会員増強の基本とその応用をユーモアたっぷりに語り、出席者に感動を与えた L. 種市一二



豊富な冊子を提示し、若手リーダーの育成の大切さを強調。力強い説得力のある講演は迫力いっぱい。屋下りの勉強会は居眠り者が皆無でした

## 西根ライオネスクラブとの クラブ間交流に当たって

〈参加者〉

Z C            L. 藤原 宥 川  
北上 LC 会長 L. 斎藤 能 久  
北上 LC 幹事 L. 千田 正 俊

今年度北上 LC では会長方針と致しまして、クラブ間交流の推進を打ち出し区内唯一の女性会員を誇る西根ライオネスクラブの伊藤規子会長にお願いし、去る 8 月 23 日(金)に月 1 回の例会に参加させて頂きました。

会員 14 名中 11 名の出席のもと厳粛ながらも和やかな雰囲気での例会でした。

西根ライオネスクラブは創立 33 年を迎えており、チャーターメンバーは現在 4 名もいらっしゃるのと、私共も大変頭が下がる思いでした。

地域のアクティビティにおきましても町内の老人ホーム等を訪れ、入居者のケアに努めるな



ど少ない会員数の中で団結して取り組んでおられるとの事、学ぶべき点が多くありました。

これを機にお互いに交流を深め合い、来たる 9 月 26 日(木)に北上 LC の第二例会にご参加頂く事をお約束し、西根ライオネ

ス例会を無事に終了する事が出来ました。

私共 3 名にとりまして有意義な例会でありました。

最後にクラブ三役の皆様をはじめ、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

室根 LC  
15 周年  
記念事業

## ブックスタート事業の継続とライオンズ文庫の設立 次世代を担う子ども達 健やかに！

報告：編集委員 L. 小岩 文雄（室根 LC）

室根ライオンズクラブでは 8 年前(2006 年 12 月)より、次世代を担う子ども達が健やかに感性豊かな人間に成長してほしいとの思いから「ブックスタート事業」をはじめました。

ブックスタートとは、「読書がもたらす効果として、幼児期より本に親しむ事により、知能や情操の発育に役立つ」、又「本との出会いは早い方がいい」とのことから、生後 9～10 カ月児の乳幼児検診時に「絵本」を贈呈し「お母さんが絵本を読んで聞かせ

る」ことで母子の絆を深めることにもなります。

感性豊かで創造性豊かな生き方を願い、毎年絵本の贈呈を実施すると共に、講師を招いての「読み聞かせ」教室の開催などを積み重ねてきました。

CN15 周年を機に、より多くの子ども達が絵本に親しむ機会を広げるため、一関市立室根図書館に「ライオンズ文庫」を設立(当初 170 冊)しました。

今後もブックスタート事業「絵本の贈呈(今年は一人 5 冊)」や「読み聞かせ教室の開

催」の継続と共にライオンズ文庫の充実を図っていきます。





おめでとう!! L. 対馬<sup>つしま</sup> 博貴<sup>ひろき</sup> (久慈 LC)  
2012-2013年度ライオン誌日本語版  
ベスト・エッセー賞受賞

地区常任名誉顧問・GMT コーデネーター L. 種市 一二 (釜石 LC)

### 若い命を奪った

#### 50年前の自動車事故

ライオン誌日本語版2012年12月号獅子吼に投稿した「50年前の悲劇とアクティビティ」が見事エッセイ賞を獲得されました。

この賞は毎年獅子吼欄に掲載された中からライオン誌の使命・目的に沿った優れた作品をノミネートし、ライオン誌委員会が優秀3点を選び9月号にて発表しているものです。

物語は50年前に自動車事故で若い命を落とした場所について、また、東日本大震災の被害状況を知りたく久慈クラブに電話が入ったところから始まり、事故状況を簡潔に述べられた後、現場の溪谷が険しく“思案坂”“辞職坂”と通称される由来が分かりやすく書かれて興味を濃くしている。昔この道を通った者ならば誰でも肯く処である。

### 3クラブによる 50回忌法要

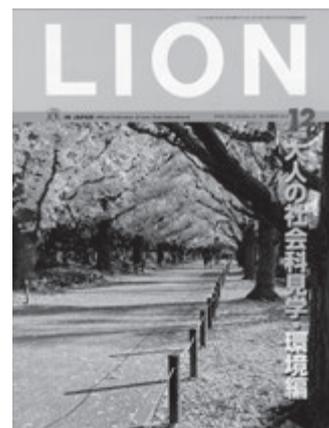
1964年、沿岸地方最初に結成された宮古岩手ライオンズクラブが3年目のチャーターナイト事業に取り組んだ田野畑村真木沢地区は、宮古からはるか

に遠く、当時の道は岬を巡り入江に落ち込むup・downの延々と続くリアス式海岸独特のジグザグ国道45号であった。また、事故に遭われたお二人は遠方から訪れた一遍の旅行者であるにも拘わらず、その霊を悼み、再び事故のないよう交通の安全を祈願し、橋の完成に合わせて供養塔を建立されたことは当時の1クラブとして並大抵の事業でなかったことが想像に難くない。

結成間もない宮古岩手ライオンズクラブの視野の広さと We Serve のファイトにあらためて感銘した次第です。

また、2000年に誕生した田野畑ライオンズクラブがこの事業の経緯をよく理解し、交通安全、環境保全を通年アクティビティに掲げ供養塔の清掃と周囲の除草を行っていることも真摯なアクトの姿勢であります。

さらにまた、横浜市に住む御遺族より紹介を受けた久慈ライオンズクラブが躊躇なく対応し、ご遺族を迎え、久慈・田野畑・宮古岩手3クラブが参加して50回忌法要を取り持ったことは遺族の願いを助け、生涯の安堵に寄与することとなりました。



ライオン誌日本語版 2012年12月号

現今各クラブとも会員が減少し、アクティビティも細くなっています。この度の3クラブによる共同事業は正に今後の奉仕活動のスタイルを指向するものであります。クラブ間交流による活性化にも資するものと期待されます。

閑話休題。2010～2012年度ライオン誌日本語版委員として、年間50編に及ぶ獅子吼に目を通してきた中で、L. 対馬博貴のエッセーは332-B地区大震災被害クラブ同士の厚い絆を示す特席ものと評価します。

同文はライオンいわて2012年9月号にも掲載されていますので次ページ掲載の宮古岩手会長L. 篠透のレポートと併せて是非今一度読んでみてください。お勧め致します。(ライオン誌日本語版元委員)

2011年3月11日のあの忌まわしい東日本大震災から2年7ヶ月が過ぎ去ろうとしています。甚大な被害を受けた沿岸市町村は復興に向け頑張っていますが、なかなか目に見える復興の成果が見えず、地域住民には焦りはおるか諦めの気持ちすら生じつつあるとの報道すらされています。大変憂慮すべき状況です。

事実はどうなのか、また、今被災地に求められる援助は何なのかをライオンズクラブ事務局のある沿岸5クラブが「被災地の今、求められるアクティビティ！」と題して被災地のクラブレポートをお伝えします。

# 被災地の 今、求められる アクティビティ！

陸前高田 LC  
会長 L. 金野 秀

## 実感を持つことの出来ない復興

東日本大震災より2年7か月になろうとしている。この間、キャビネットはじめブラザークラブの皆様からは、多大なるご支援を頂き誠にありがとうございました。

陸前高田市の復興計画は水面下では進んでいるものと思うが、我々市民は、実感を持つことはできないでいるのが実情だ。



震災前 陸前高田市街地

## 心のケアは必要

ご存知のとおり陸前高田市街地は、ほとんどの建物が流失倒壊し更地となっている。どこに何が建つのか確定はしていない、市役所さえ未定だ。そんな中、国内のクラブからもアクティビティの申し入れがあるが、具体的な支援策を提案することが出来ないでいる。当クラブでは目的を持った基金を考えたらどうかという話もあるが、今今の成果を望むクラブが多いので思案中である。

又、いまだ仮設住宅にいる方々への慰問アクティビティー（心のケア）は、まだ必要とは思われる。



震災後 陸前高田市の中心部

## 被災地を忘れさせないための働きかけ

只、切実に思うのは、高田市内の街並みが完成し、商店街に活気を復活させることが出来た時に、必要なものはいくらでもあるだろうという事、その時がいつなのか、5年先いや10年

先かも知れない、願わくはその時までの基金を設けて頂き、システム化していただけないかと願うものである。被災地を忘れさせないためにも、国内のクラブにも働きかけて頂ければありがたいと思う。

# わがクラブ 自慢のアクティビティ

## ② 一関中央 LC

会長 L. 芦萱 敬一

### グッドスタンディング大賞 金賞受賞

昨年度、栄光のアワード・グッドスタンディング大賞金賞を受賞し会員一同、心より感謝致します。改めて気を引き締めております。現在会員が30代～80代と幅広い年齢層で、家族会員含み72名で運営をしております。

当クラブでは青少年健全育成に特に力を注ぎ、未来を担う子ども達に様々な体験をして頂いています。

### わんぱく寺子屋

9月29日(日)今年度初めての取り組み事業「わんぱく寺子屋」を実施しました。市内小学校4年生～6年生を対象に広報機関・各学校を通して広く応募、約30名の児童が集まり、光西寺(LC会員L. 本田秀行)のお寺で行いました。本堂で、開会式・座禅を体験、腹話術・昼食は流しソーメンとおにぎり、おにぎりの200個は家族会員が



全員で集合写真

一生懸命作ってくれました。流しソーメンの器を竹細工の津田先生に教わりながら作り、自分流の器で食べ、時折流れる果物やミニトマトに大はしゃぎ。午後は竹細工の津田先生にナイフの使い方を指導され、2時間かけて竹ケン玉・ぶんぶんゴマをグループに分かれ製作。怪我もなく楽しい一時を会員メンバーと過ごしました。

その他、7月には特別養護施設「藤の園」の夏祭り広場を開催しています。子ども達が一年間楽しみに待っている大きなイベントで

す。11月2日・3日には一関中央LC旗争奪・一関地方中学校新人サッカー大会を被災地の中学校4校を無料招待し、計16校で2日間に及ぶ熱戦を繰り広げる予定になっております。

又、冬期YCE派遣で一関二高レオクラブ会員の山影蘭さんをマレーシアに派遣が決定し、手続き完了となりました。

次年度・次々年度へと引き継げる、中身の濃いアクティビティに邁進していきたいものと思っております。



座禅



流しソーめん

# おらがクラブの名物ライオン



地区 Y C E ・ライオンズクエスト委員

L. 晴山 <sup>ただ</sup> 匡倫 <sup>のり</sup> (西根 LC)

■プロフィール

生年月日：1936年9月23日

【ライオン歴】

1981年10月23日 西根ライオンズクラブ入会  
1990年～1991年 1 R ・ Y E 委員  
1998年～1999年 1 R ・ Y E 委員、複合地区 Y E 副委員長  
1999年～2000年 複合地区 Y E 委員長  
2000年～2001年 複合地区 Y E 実行委員長  
2004年～2005年 地区 Y E ・ レオ ・ ライオネス委員長

2005年～2006年 地区 Y E 実行委員長  
2006年～2007年 1 R 2 Z 地区 Y E 委員  
2007年～2008年 1 R 2 Z 地区 Y E 委員  
2011年～2012年 1 R 2 Z ゾーンチェアパーソン  
2013年～2014年 1 R 2 Z Y C E ・ ライオンズクエスト委員

文責：会報委員長 L. 工藤 哲男 (西根 LC)

## 複合地区・準地区を代表する Y E 委員の師範役！

東日本大震災の体験を伝え続けている NHK おぼんですいわて「証言 あの日、あの時」。9月4日の画面にジェームス晴山のテロップが…。あれ、L. 晴山 <sup>ただのり</sup> 匡倫の3女M子さんの婚嫁だ。思わず見入る。彼は震災後数多く被災地に物資を届けたり、ネットで世界中に支援の輪を広げた。その紹介であった。

振り返れば、L. 晴山は1981年西根 LC に入会。6年後の夏、当時高3のM子さんをアメリカのネブラスカ州に派遣生として送り出されたと同時に、ニュージーランドからリネット・アニーをホスト。わがクラブの Y E の草分けになった。その後、M子さんはアメリカに留学、ジェームス君と運命的に出会い、晴山ファミリーの一員になられた。アニーを皮切りに、今までホスト受入れ7人、派遣3



Y E 委員として永年活躍された記念の名札

人の面倒を見たりしながら、地区や複合の Y E 、 Z C の役職を計 10 年間歴任。毎月の会議、毎年数十人の派遣生・受入生の世話などに心血を注がれた。

深く敬意を表すると共に、L. 晴山にとって Y E は L C のみならず、生涯の役割かもしれないと感ずる。

余談だが、伴子夫人は L S

として共に奉仕の道を、孫のケビン君 (大学3年) はバスケット全日本選抜選手でオリンピックの夢を、次女 Y 子さんは江間章子生誕百年に、筆者のタクトでコーラスのピアノ伴奏を…。こうしたファミリーに囲まれ、めでたく喜寿を迎えられたが、今後のご発展を、切に祈ってやまない。

## おらほの元気な新入会員

## ② 陸中宮古 LC

文責：陸中宮古LC会長 L.横道 廣吉

すがわら  
L. 須賀原 チエ子

入会日：2013年7月1日

職 業：宮古市議会議員

NPO法人輝きの和 相談役

「このままでは、地域がだめになる。そう思ったら自分にできることで行動を起こさなくちゃ。と思いましたね。」と語るL. 須賀原チエ子。それは子ども達が通う高校が消えるかもしれない時だった。

存続運動に乗り出したL. 須賀原の努力が実って学校は残った。それから「女だからといって黙っていてはだめなんだわ」と市議会議員になった。

震災後は直ちに被災者支援に奔走、あねさんショップを立ち上げて仮設住宅に仕事を配る活動を始めた。横道会長に誘われてライオンズの例会に出向き、ゲストスピーチで支援を訴えた。ちょうどそのころ島根県の浜田亀山ライオンズクラブからの支援金が届くことになり、プロジェクト

のプレゼンが行われてあねさんショップには高機能ミシンが贈呈された。

陸中宮古ライオンズクラブでは国際協会の方針でもある「女性会員の拡大」に取り組んでおり、L. 須賀原は7月1日に入会した。

贈呈されたミシンで被災者に仕事を創設しようと駆け回り、9月には被災した学校に防災頭巾を贈呈した。ライオンズでは副テールツイスターとなり大いに活躍している。

このほど332-B地区から大槌に手作り工房が贈呈された新聞記事を見て「私たちもこういうのが必要だわ。」とさらに大きな夢ができたようだ。

けれども被災者に手作りの仕事を提供し、安定したものにしていくには道は険しい。



手作り防災頭巾の贈呈  
右端がL. 須賀原  
左端 横道会長

「最初は被災者の作品ということだけで買ってくれましたがそういう時代は過ぎました。被災地のものであろうといいもの、価値あるものでないと売れないから」と新商品の企画開発に余念がない。「ライオンズの皆さまの支援でどうにかレールに乗せたい」と今日も頑張る新入会員です。



手作り教室での指導風景



輝きの和の工房にて



クラブ事務所で打ち合わせ

# 9月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	9日	LCIF \$ 1000 献金
	7日	アイバンクPR活動に協力
	10日	親睦ゴルフ大会(事業資金獲得) 東日本大震災義援金寄付
	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
盛岡不來方LC	7日	アイバンクPR活動に協力
	10日	親睦ゴルフ大会(事業資金獲得) 東日本大震災義援金寄付
	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
盛岡中津川LC	7日	アイバンクPR活動に協力
	10日	親睦ゴルフ大会(事業資金獲得) 東日本大震災義援金寄付
	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
盛岡観武LC	8月29日	盛岡レオクラブ協力金 拠出
	7日	アイバンクPR活動に協力
	10日	親睦ゴルフ大会(事業資金獲得) 東日本大震災義援金寄付
盛岡南LC	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
	7日	アイバンクPR活動に協力
	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
滝沢LC	8日	第19回滝沢村柔道協会長杯少年柔道大会
	10日	親睦ゴルフ大会(事業資金獲得) 東日本大震災義援金寄付
	29日	秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン
玉山姫神LC		
1R2Z		
岩手LC	30日	献血推進活動
二戸LC	3日	第15回わたしの主張二戸地区大会
	3日	暴力団追放二戸地区民会議
	3日	二戸地区防犯協会連合会へ助成
西根LC	14日	むらさき苑長寿を祝う会
	15日	西根・松尾・安代地区学童相撲大会
	23日	第12回ライオンズクラブカップ少年野球大会
	25日	献血推進活動
安代LC	15日	西根・松尾・安代地区学童相撲大会
2R1Z		
花巻LC	3日	「私の主張」花巻大会
	22日	こぶし苑 ふれあいの里まつり
紫波LC	24日	ペットボトルキャップの回収
	24日	第37回ライオンズ県下少年剣道選手権大会出場支援
	24日	紫波町タグラグビーフェスタ'13開催支援
石鳥谷LC	3日	私の主張 花巻大会 協賛
大迫早池峰LC	27日	石鳥谷レオクラブ 例会
花巻東LC	21日	清掃活動
	28日	福祉施設慰問
東和猿ヶ石LC	15日	ライオンズの森「桜香の森」草刈り整備
	24日	卒業記念植樹会
	29日	「桜香の森」に簡易トイレ、看板等設置
矢巾LC	4日	矢巾町総合グラウンドの環境整備と周辺の清掃
2R2Z		
北上LC	8月1日~30日	資源回収リサイクル活動
	8月30日	献血推進活動
	1日	展勝地「あじさい」剪定作業
	6日	北上地区中学生弁論大会「私の主張」支援
	9日	東日本大震災被災者支援 あんぱん光俊チャリティコンサート入場券送呈
	16日、26日	献血推進活動
	19日	北上地区小学校特別支援学級校外学習支援
	27日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
和賀LC	28日	レオと合同資源回収リサイクル活動
	1日	展勝地「あじさい」剪定作業
	6日	「私の主張」北上地区大会支援
	9日	献血推進活動
北上国見LC	19日	北上地区小学校特別支援学級校外学習支援
	26日	環境保全 資源回収
	1日	展勝地「あじさい」下草除去作業
	6日	「私の主張」北上地区大会へ後援金寄贈
江釣子LC	11日、26日	献血推進活動 3件
	19日	北上地区小学校特別支援学級校外学習支援
	1日	展勝地「あじさい」剪定作業
	6日	「私の主張」北上地区大会後援
	8日	献血推進活動
3R1Z	19日	北上地区小学校特別支援学級校外学習支援
	24日	資源回収
	27日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
水沢LC	27日	奥州市水沢青少年育成市民会議
江刺岩手LC		
前沢LC	15日	献血推進活動

3R1Z		
水沢中央LC	3日	JR水沢駅前広告塔周辺の剪定
	4日	水沢区花いっぱいコンクール審査
金ヶ崎LC	12日	ライオンズ青少年スポーツ振興補助金交付式
	14日	献血推進活動
	15日	東日本大震災復興支援 大槌町「金ヶ崎町産野菜で地域を元気に」
	16日	国際交流協会「大地の詩コンサート」後援
	25日	使用済み切手 1,538枚送付
胆沢岩手LC	8日、15日、16日	胆沢区内敬老会で記念品贈呈
	12日	献血推進活動
	18日	奥州市小学校陸上記録会 メダル贈呈
3R2Z		
一関LC	8日	献血推進活動
平泉LC	15日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013
	15日、16日	平泉町敬老会で記念品贈呈
花泉LC	15日	敬老祝い金贈呈
	17日	さくら園へ資源再利用品の収集支援
一関中央LC	8日	月一努力奉仕
	15日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013
	18日	使用済み切手 1,000枚送付
	29日	わんぱく寺子屋
一関美深LC		
4R1Z		
千厩LC	9日	特養老人ホーム「千寿荘」散髪奉仕
	10日	一関市千厩地区敬老会
	14日	チャリティバザー(事業資金獲得)
	25日	東日本大震災被災者支援 陸前高田福祉協議会へ義援金贈呈
	26日	秋の交通安全街頭指導
大東岩手LC		
東山LC	20日	LCIF \$ 1000 献金 2口
藤沢岩手LC		
川崎岩手LC	7日	川崎「交流の森」環境整備
	14日、18日	敬老会に参加
室根LC	8月31日	暴力団追放
	5日	献血推進活動
	8日	特養老人ホーム孝養ハイソ敬老会
	19日	ブックスタート事業
4R2Z		
大船渡LC	27日	MOA美術館岩手県気仙地区児童作品展協賛
	28日	豊田市産業フェスタ
陸前高田LC	3日	ものづくり体験教室教材費支援
	13日、15日	敬老の日 88歳に記念品贈呈
	20日	ライオンズの森 草刈り作業
住田LC	20日	交通安全街頭指導
	27日	有住保育園栗拾い協力
大船渡五葉LC	27日	MOA美術館岩手県気仙地区児童作品展協力
5R1Z		
宮古岩手LC	8日	献血推進活動
	27日	秋の交通安全運動街頭啓発活動
久慈LC	8日	第51回三船十段杯争奪柔道大会
	24日	久慈市協同募金委員会
	24日	久慈市中高生海外派遣推進委員会
	28日、29日	久慈LC杯学童野球新人交流大会
	3日	「防災ずきん」贈呈式
陸中宮古LC	8日	献血推進活動
	18日	レディースの会奉仕活動
	27日	秋の交通安全運動街頭啓発活動
田野畑LC	29日	田野畑小学校ミニバスマンパーと清掃活動
岩泉龍泉洞LC	5日	ライオンズクラブ花壇除草及び花苗補植
5R2Z		
釜石LC	18日	第387回LL奉仕活動
遠野LC	4日	リサイクル品の回収
	18日	巖龍神社清掃
釜石リアスLC	11日	薬物乱用防止講座(釜石高校)
	24日	使用済み切手 1,000枚送付
大槌LC	15日	和RINGーPROJECTに支援
	18日	直接献血
陸中山田LC	9日	献血推進活動
	15日	YOSAKOIそーらん演舞会
ライオネスクラブ		
西根LS	14日	「むらさき苑」長寿を祝う会
	25日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡LEO	14日	視覚障害者の為の手で見る博物館見学
早池峰LEO		
石鳥谷LEO		
北上LEO	13日	救急救命講習会
	28日	ライオンと合同の訪問型資源回収
一関二高LEO	30日	二高祭
釜石洞LC		

**クラブ会員動向 2013年6月末現在の会員数と2013年9月現在の加入状況**

R	Z	クラブ名	① 2013年6月末 期末会員数	② 2013年6月末 期末家族会員	③ 2013年6月末 一般会員数	⑤ 2014年6月末 までの目標値(純増)	2013年度 入会者数			
							7月	8月	9月	
1	1	盛岡 岡	52	19	33	4名以上	1	0	0	
		盛岡 不来方	41	0	41	4名以上	0	0	0	
		盛岡 中津川	41	13	28	4名以上	1	0	0	
		盛岡 観武	38	8	30	4名以上	1	0	0	
		盛岡 南	55	18	37	4名以上	2	0	0	
		滝 沢	32	13	19	4名以上	0	1	0	
		玉 山 姫 神	26	6	20	4名以上	0	0	0	
	2	岩 手	42	11	31	4名以上	1	1	0	
		二 戸	42	16	26	4名以上	0	1	0	
		西 根	59	0	59	4名以上	1	0	0	
		安 代	39	8	31	4名以上	0	0	0	
	2	1	花 巻	29	6	23	4名以上	0	0	1
			紫 波	61	16	45	4名以上	0	0	0
			石 鳥 谷	81	33	48	4名以上	0	0	0
大 迫 早 池 峰			15	4	11	4名以上	1	0	0	
花 巻 東			27	5	22	4名以上	5	0	0	
東 和 猿 ケ 石			29	9	20	4名以上	0	0	0	
矢 巾			54	12	42	4名以上	0	0	0	
2		北 上	67	18	49	4名以上	5	3	1	
		和 賀	42	12	30	4名以上	0	0	1	
		北 上 国 見	58	0	58	4名以上	2	0	0	
江 釣 子	32	4	28	4名以上	1	0	0			
3	1	水 沢	47	3	44	4名以上	0	0	0	
		江 刺 岩 手	67	34	33	4名以上	2	0	0	
		前 沢	25	6	19	4名以上	0	0	0	
		水 沢 中 央	49	15	34	4名以上	1	0	1	
		金 ケ 崎	53	17	36	4名以上	0	0	0	
		胆 沢 岩 手	26	4	22	4名以上	0	0	2	
	2	一 関	43	14	29	4名以上	0	0	0	
		平 泉	34	10	24	4名以上	0	0	0	
		花 泉	26	5	21	4名以上	0	0	0	
		一 関 中 央	70	27	43	4名以上	2	0	0	
一 関 巖 美 溪	27	11	16	4名以上	0	1	0			
4	1	千 厩	33	10	23	4名以上	1	0	0	
		大 東 岩 手	19	3	16	4名以上	0	1	0	
		東 山	41	12	29	4名以上	2	1	0	
		藤 沢 岩 手	35	11	24	4名以上	3	0	0	
		川 崎 岩 手	28	9	19	4名以上	0	0	0	
		室 根	46	20	26	4名以上	0	0	0	
	2	大 船 渡	63	21	42	4名以上	1	0	0	
		陸 前 高 田	74	25	49	4名以上	0	0	0	
		住 田	41	14	27	4名以上	0	0	0	
		大 船 渡 五 葉	30	10	20	4名以上	1	0	0	
5	1	宮 古 岩 手	27	9	18	4名以上	0	0	0	
		久 慈	45	0	45	4名以上	0	0	0	
		陸 中 宮 古	36	11	25	4名以上	2	0	0	
		田 野 畑	23	6	17	4名以上	0	0	0	
		岩 泉 龍 泉 洞	20	2	18	4名以上	2	0	0	
	2	釜 石	73	11	62	4名以上	0	0	0	
		遠 野	21	0	21	4名以上	0	0	0	
		釜 石 リ ア ス	31	10	21	4名以上	1	0	1	
		大 槌	16	2	14	4名以上	0	0	1	
		陸 中 山 田	23	0	23	4名以上	0	0	0	
合 計		2,154	563	1,591	220名以上	39	9	8		

(備考) →②+③=① ※ この表は、あくまでも目安となる数値です。

クラブ会員動向表は今後、毎月「ライオンいわて」に掲載します。

ガバナー雑感

# 獅子奮迅

## スポーツの力

地区ガバナー L. 佐々木 賢 治

2020年の東京オリンピックが決定になったことは明るいニュースだ。招致活動も感動であった。

遡ること約半世紀、昭和39年10月10日東京オリンピック開会の日を記念し、開催2年後の昭和41年に国民の祝日の一つとして体育の日が制定された。2000年より10月の第2月曜日となり、今年は10月14日であった。

全国各地で体力測定や陸上競技等が盛んに行われている。

過日私の町でも第50回の記念大会の町民運動会が開催された。前日の雨も上がり、

秋空のもとスポーツっていいなあ。プレーしてよし、観て応援して楽し。そして私達に明日への活力を与えてくれる。

この頃ではプロ野球の東北楽天のリーグ優勝だ。あの3・11から立ち上がろうと「見せましょう 野球の底力を」を合言葉に、諦めないを実践し、震災から3年目での初優勝。

また、東京で行われた国民体育大会での岩手選手団の活躍。特に最終日の女子400mリレーの優勝は圧巻であり、私達に感動と共に、来るいわて国体に希望を継いでくれました。「がんばろう岩手」「東

北は負けない」を実感し、勇気をもらったところです。本当にスポーツっていいなあ。

交流や親睦目的の各競技・試合は真剣勝負で一生懸命にやるべきで、怪我を防ぐ一番の策であり、副産物として感動を生み、時には珍プレーをもたらし思い出深いものとなり、帰ってからの「かさこし」で盛り上がることになる。

先日、日本人の体力調査が放映されていたが、若い人は下降、逆に60～80歳は上昇との結果であったが、何事も年代にあった頑張りが一番と思う運動会日和でした。

### 訃報



故 L. 宮本 耕佑

享年 77 歳 (遠野 LC)  
1977 年 6 月入会 9 月 6 日逝去



故 L. 藤原 榮三

享年 83 歳 (石鳥谷 LC)  
1987 年 6 月 1 日入会 9 月 9 日逝去



故 L. 菊池 市郎

享年 77 歳 (遠野 LC)  
1977 年 11 月入会 9 月 25 日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

## 会員動向

### 9月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
花巻 LC	高 橋 章
北上	柴 田 とく子
和賀 LC	中 野 厚
江刺岩手 LC	伊 藤 トヨ
	千 葉 紅 華

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
水沢中央 LC	吉 水 義 教
釜石リアス LC	板 澤 永 博
大槌 LC	小笠原 正 年

(8名)

### MJF \$1000 献金者

クラブ名	会 員 名	回数
盛岡 LC	宮 田 謙	10
東山 LC	那 須 邦 雄	1, 2 (2回)

# アクティビティ Photo グラフ

Activity Photograph



住田 LC  
交通安全街頭指導



室根 LC  
特養老人ホーム孝養ハイツ敬老会



水沢中央 LC  
J R 水沢駅前広告塔周辺の剪定



江釣子 LC  
資源回収



盛岡中津川 LC  
秋季臓器移植普及推進街頭キャンペーン



北上 LC  
展勝地「あじさい」剪定作業



遠野 LC  
巖龍神社清掃



花泉 LC  
さくら園へ資源再利用品の収集支援



西根 LC  
第12回ライオンズクラブカップ少年野球大会



紫波 LC  
ペットボトルキャップの回収



金ヶ崎 LC  
大槌町「金ヶ崎町産野菜で地域を元気に」



千厩 LC  
特養老人ホーム「千寿荘」散髪奉仕



前沢 LC  
献血推進活動



滝沢 LC  
第19回滝沢村柔道協会長杯少年柔道大会



花巻東 LC  
福祉施設慰問



北上国見 LC  
展勝地「あじさい」下草除去作業

## 表紙の写真：一関市千厩町「せんまやつるし飾り物語」

千厩町は夫婦石で知られる所。春には「ひなまつり」でにぎわいます。そして3年前に秋のイベントとして「せんまやつるし飾り」を立ち上げました。町の活性化のため千厩の地名の由来にちなみ「千の馬」飾り等で人々の目を楽しませてくれます。町民の手作りなのが貴重なのです。

この「つるし飾り」は、地元のにぎわいを呼び戻そうと長寿を願う「重陽の節句」（9月9日）を中心に行なわれます。中心になっているのは女性商店経営者で組織する「せんまや逸品の会」の皆さんで、人気あるイベントです。

### 編集後記

実りの秋の到来です。今、岩手は注目の的。NHK ドラマの「あまちゃん」効果だと思えます。沿岸部の復興は遅々として進みませんが、海産物の水揚げは復活の兆候が見られるのは嬉しいことです。

山里、平野部の産物も豊作であることも岩手の住民として誇らしいことです。しかし、日本経済はTPPの課題と共に消費税率8%への対応で正念場を迎えています。こういう状況の中でこそ私たちライオンズ・マンは一致団結し「ウィサーヴ」の精神を発揮し、ガバナーテーマ「我らライオンズファミリー」の底力を乗り越えましょう。編集委員一同も仲間のために頑張ります。  
(副編集委員長 L. 藤沢 誠)



西根 LS  
献血推進活動

ライオンズクラブ国際協会 332-B地区  
キャビネット事務局

## ライオンいわて編集委員会

発行 2013年10月25日

発行人：L. 佐々木賢治  
編集委員長：L. 菅原 正行  
副委員長：L. 藤沢 誠 L. 渡辺 和敏  
編集委員：L. 加藤 栄一 L. 小岩 文雄  
L. 鈴木 隆

印刷：トーバン印刷株式会社  
編集事務局：〒029-0302  
一関市東山町長坂字西本町123-2  
TEL (0191) 47-4251  
FAX (0191) 48-3751